

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年6月22日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

まず、広報日程の1ページ目下段、6月26日火曜日、(2)の審査会合について補足いたします。議題の内容といたしまして、大きく2件の審査を予定してございます。

まず、1件目といたしまして、日本原電・東海第二原子力発電所の設置変更許可に関する審査が予定されております。内容といたしましては、ペDESTALの構造変更に伴う健全性の評価について、説明を聴取するという予定でございます。こちらは審査の過程で以前説明されていた内容から設計の変更、構造の変更があるということで、それについて説明をお聞きするというところでございます。

次に、2件目といたしまして、同じく日本原電・東海第二原子力発電所につきまして、工認、工事計画認可に関する審査を予定してございます。こちらの内容は、昨日行われましたブローアウトパネル閉止装置の機能確認のための試験、そちらの結果について、日本原電のほうから説明をお聞きするという予定でございます。

次に、2ページ目上段、(3)同日6月26日でございますが、午後に別途審査会合を予定してございます。こちらの審査会合は特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開にて開催をさせていただきます。議題の内容といたしまして、2件の審査が予定されております。

まず、1件目といたしまして、九州電力・玄海原子力発電所3号機、4号機の特重施設に係る許可に関する審査。また、2件目といたしまして、関西電力・高浜原子力発電所1号機、2号機の同じく特重施設の、こちらは工認に関する、それぞれ審査が行われる予定でございます。

次に、同じく2ページ目の下段、6月29日金曜日、(8)でございます。こちら、大山火山の火山灰分布に関する情報収集に係る意見交換会、こちらの開催が予定されております。

議題に記載がございますように、議論の対象としては、京都府越畑知見の大山生竹テフラの産出状況に関する事業者意見ということで、関西電力から見解・意見について説

明をいただくという予定でございます。

こちら、若干さらに補足いたしますと、本件につきましては、3月28日の原子力規制委員会におきまして事務局から説明が行われまして、その際、事業者側から意見があれば、公開の場で意見交換を行うということとなっていたところでございます。これについて関西電力から追加の説明を行いたいという申し出をいただき、こちらの交換会が設定されているということでございます。

次に、3ページ目の一番上でございます。(9)、こちらは同日6月29日金曜日に開催される予定でございます。核燃料施設等に係る審査会合が午後に予定されております。

議題は、記載のとおり3件予定されております。議題1と議題2は、審査の進捗状況についての確認、議題3は具体的な内容についての審査という予定でございます。

議題1は、リサイクル燃料貯蔵株式会社の新規制基準適合性に係る審査の進捗状況ということでございます。御案内のとおり、陸奥にございます貯蔵施設でございます。こちらは前回、4月末に津波対策について審査が行われて、規制委員会の側からコメントが行われたというところでございます。その後の進捗について状況をお聞きし、確認をするという予定でございます。

次に、議題2では、ウラン加工事業者（日本原燃株式会社を除く）、日本原燃以外のウラン加工事業者に関しまして、新規制基準適合性に係る審査の進捗状況を確認することということでございます。日本原燃以外の3事業者4事業所につきまして許可が行われ、現在、施設工認の審査が行われているところでございます。そちらの審査の状況について、公開の審査会合で確認を行うということが目的でございます。

議題3は、日本原電の廃棄物埋設施設の事業許可申請に係る審査ということでございます。廃棄物埋設施設につきまして、今回は廃止措置の開始以降の被ばくに関する評価につきまして説明をお聞きし、審査を行うという予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。タケオカさん。

○記者 共同通信のタケオカと申します。

済みません。私、ちょっと過去の経緯を把握していなくて、教えていただきたいのですが、金曜日のこの大山火山の件なのですけれども、これはここだけやるのか、それとも全国ほかにもやろうとしているところがあるのか、この意見交換会をやることになった経緯も含めて簡単に教えてください。

○大熊総務課長 こちらの経緯・内容でございますけれども、こちらは大山火山の火山灰の分布について、新たな知見、新たな論文があったということで、それに関連して関西

電力において調査を行っていただいていたところでございます。

それについて、たしか3月初めだったと思いますが、調査がまとまったということで、その内容と、それから、それに対する原子力規制庁としての見解、これを3月末の委員会に報告をしたというものでございます。その先は、先ほど申し上げたとおり、規制庁の考え方に対して関西電力からまた説明があるということ、説明・意見表明があるということですので。

ですので、御質問に直接お答えすれば、全国ということではなくて、これは大山火山についての新しい知見についての対応について、いろいろな調査をしながら検討をしている、そういう議題といいますか、イシューでございます。

○記者 そうすると、今後の方向性としては、新知見に対して何らかの対応が必要なのかどうかということ、結論を出すことになるということですか。

○大熊総務課長 今回の意見交換会で結論ということではないと思いますが、その新知見に対応して、火山灰の分布状況をどう評価するのかということ、今、調査をして、議論を積み上げている段階ということだと認識しております。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—